

参考資料



平成20年度  
関東地方整備局予算の概要  
(神奈川県)

平成20年4月

国土交通省関東地方整備局

## 神奈川県内における平成20年度主要事業

神奈川県内の主な事業としては、国際競争力の強化を図るために、横浜港南本牧ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業を推進します。

また、高規格堤防整備事業（港町地区）を新規に事業着手し、橋本6丁目2番地区優良建築物等整備事業、横浜港みなと振興交付金、大磯港みなと振興交付金を新規に支援するほか、横浜港新港地区（象の鼻地区）港湾環境整備事業が完成します。

### 【河川関係】

#### ■直轄事業

- ・相模川改修事業（茅ヶ崎市・平塚市）〔安全〕
- ・鶴見川総合治水対策特定河川事業（潮見橋架替）（横浜市）〔安全〕
- ・高規格堤防整備事業（小向仲野地区）（川崎市）〔安全〕
- ・高規格堤防整備事業（港町地区）（川崎市）〔安全〕 **新規**
- ・鶴見川総合水系環境整備事業（鶴見川ふれあい施設検討整備）（横浜市）〔暮らし〕
- ・相模川総合水系環境整備事業（相模川水辺利用施設整備）（平塚市）〔暮らし〕

#### ■補助事業

- ・相模川広域基幹河川改修事業  
（相模原市、座間市、海老名市、厚木市、平塚市、寒川町、愛川町）〔安全〕

### 【港湾空港関係】

#### ■直轄事業

- ・横浜港本牧地区国際海上コンテナターミナル整備事業（横浜市）〔活力〕
- ・横浜港南本牧ふ頭地区国際海上コンテナターミナル（耐震強化岸壁）  
（横浜市）〔活力・安全〕

#### ■補助事業

- ・横浜港本牧地区臨港道路整備事業（横浜市）〔活力〕
- ・横浜港みなと振興交付金（横浜市）〔活力〕 **新規**
- ・大磯港みなと振興交付金（大磯町）〔活力〕 **新規**
- ・横浜港新港地区（象の鼻地区）港湾環境整備事業（緑地等施設）  
（横浜市）〔暮らし〕 **完成**

## 【都市・住宅関係】

### ■補助事業

- ・ 橋本六丁目 24 番地区優良建築物等整備事業（相模原市）〔活力〕 **新規**
- ・ 横浜市公共下水道事業（新羽末広幹線）（横浜市）〔安全〕
- ・ 神奈川県地域地域住宅交付金（県全域）〔暮らし〕
- ・ 鎌倉中央公園都市公園事業（鎌倉市）〔環境〕

【完成予定】

さがみがわかいしゅうじぎょう  
相模川改修事業

H20事業費：509百万円

ちがさきし  
茅ヶ崎市

1. 事業の必要性及び概要

相模川の左岸堤防は、無堤部・弱小堤防が多く残されており、平成19年9月の台風9号時には平塚市において18,300世帯に避難勧告が出されるなど非常に危険な状態であり、早期の改修が望まれています。このため、無堤部等での築堤を行います。

○全体計画

事業箇所：かながわけんちがさきしはぎそのちさき神奈川県茅ヶ崎市萩園地先

事業内容：築堤（L=780m）

全体工期：平成18年度～平成20年度予定

全体事業費：約9億円

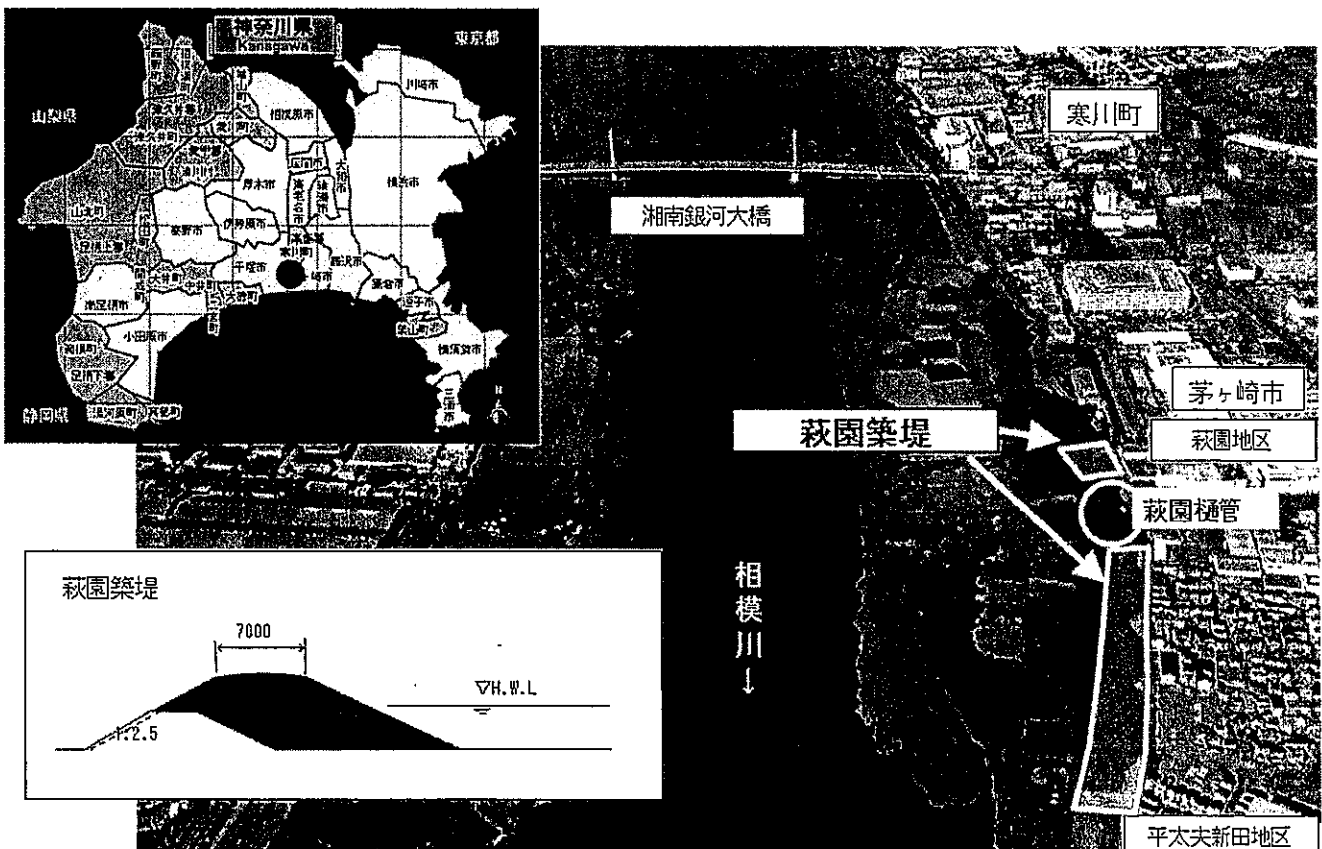
2. 平成20年度の予定

平成19年度に引き続き築堤を実施し、平成20年度内に萩園地区の築堤を完成させます。

3. 期待される整備効果

地域の浸水被害の解消が図られ、洪水に対する安全性が向上します。

4. 位置図及び概要図



【継続】

つるみがわそうごうちすいとくていかせんかいしゅうじぎょう しおみばしかけかえ  
鶴見川総合治水特定河川改修事業（潮見橋架替）

H20事業費：1,273百万円

よこはまし  
横浜市

1. 事業の必要性及び概要

鶴見川流域は、約7割が起伏した丘陵・台地であり、住宅需要の急増とあいまって急激に開発が進み、流域が元来有していた保水、遊水機能を減少させ、水害を助長させているとの認識が高まり、総合治水特定河川に指定されました。

鶴見川では、中・下流部の大規模浚渫や鶴見川多目的遊水地の整備、下流部の築堤等の河川改修を行ってきており、平成20年度は下流部で流下阻害になっている潮見橋の架け替え事業等を行います。

○全体計画

事業箇所：かながわけんよこはまし神奈川県横浜市

事業内容：橋梁架替

全体工期：平成14年度～平成22年度予定

全体事業費：約47億円

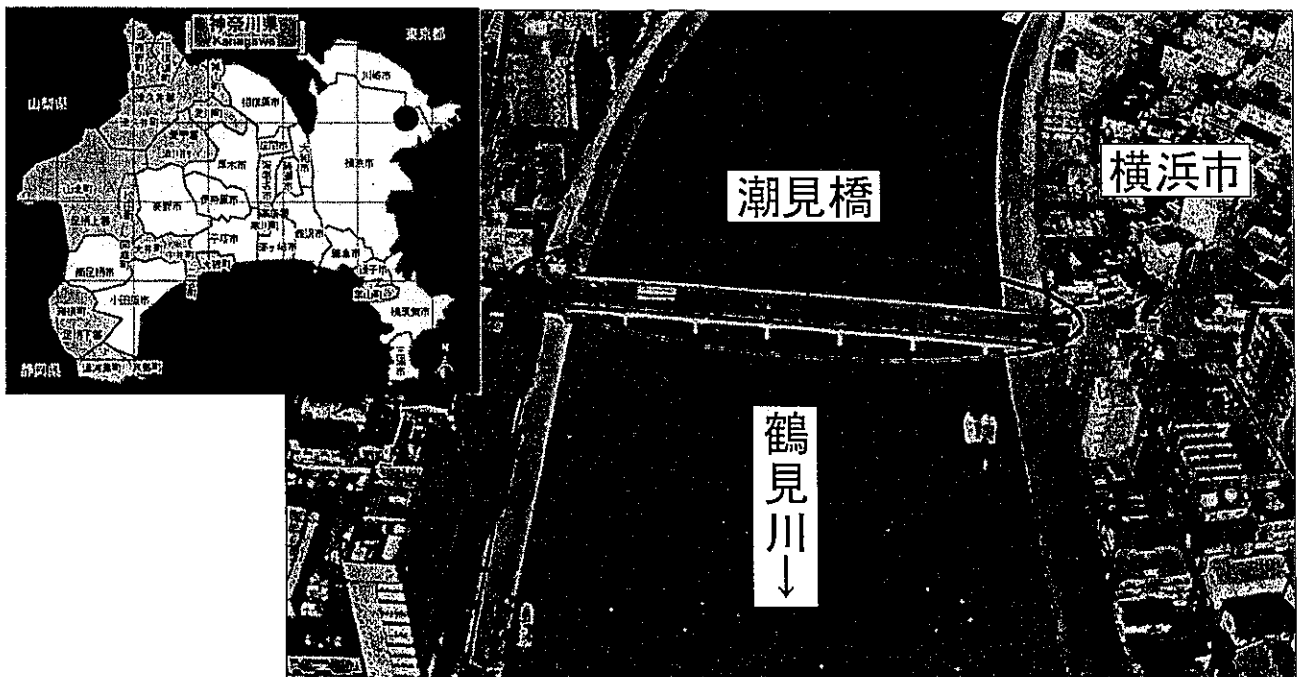
2. 平成20年度の予定

平成19年度に引き続き、潮見橋架け替え事業（本橋上部工）を実施します。

3. 期待される整備効果

橋梁構造的に問題（桁下高不足、橋台・橋脚による阻害）があり、流下能力の妨げになっているため、架け替えにより流下能力不足解消を図ります。

4. 位置図及び概要図



【完成予定】

こうきかくていぼうせいびじぎょう こむかいなかのちく  
高規格堤防整備事業 (小向仲野地区)

H20事業費：389百万円

かわさきし  
川崎市

1. 事業の必要性及び概要

当地区は、多摩川沿川における都市再生の動きにあわせ「防災に強いまちづくり」を目指し、民間企業が行う住宅整備事業と高規格堤防の共同事業を実施し、安全でゆとりと潤いのある水辺都市再生に向けた整備及び水害に強いまちを実現します。

○全体計画

事業箇所：かながわけんかわさきし神奈川県川崎市

事業内容：延長約180m、幅約90m、面積約1.2ha、  
盛土工約36千m<sup>3</sup>

全体工期：平成17年度～平成20年度予定

全体事業費：約14億円

2. 平成20年度の予定

平成19年度に引き続き、沿線道路嵩上等を実施し、事業完成を目指します。

3. 期待される整備効果

高規格堤防整備事業との共同事業により、防災能力の向上、都市基盤整備及び良好な水辺空間の創造を図ります。

4. 位置図及び概要図



【新規事業化】

こうきかくていぼうせいびじぎょう みなとちょうちく  
高規格堤防整備事業（港町地区）

H20事業費：578百万円

かわさきし  
川崎市

1. 事業の必要性及び概要

多摩川沿川では、人口・資産が集中しており、洪水氾濫が起きた場合には壊滅的な被害となることから、都市再生の動きにあわせ「防災に強いまちづくり」の一環として、高規格堤防整備事業を推進しています。

港町地区では民間開発と共同して高規格堤防を整備することにより、安全・安心な地域づくりを実現します。

○全体計画

事業箇所：神奈川県川崎市

延長：L=400m

事業内容：高規格堤防盛土、擁壁工

全体工期：平成20年度～平成22年度予定

全体事業費：約19億円

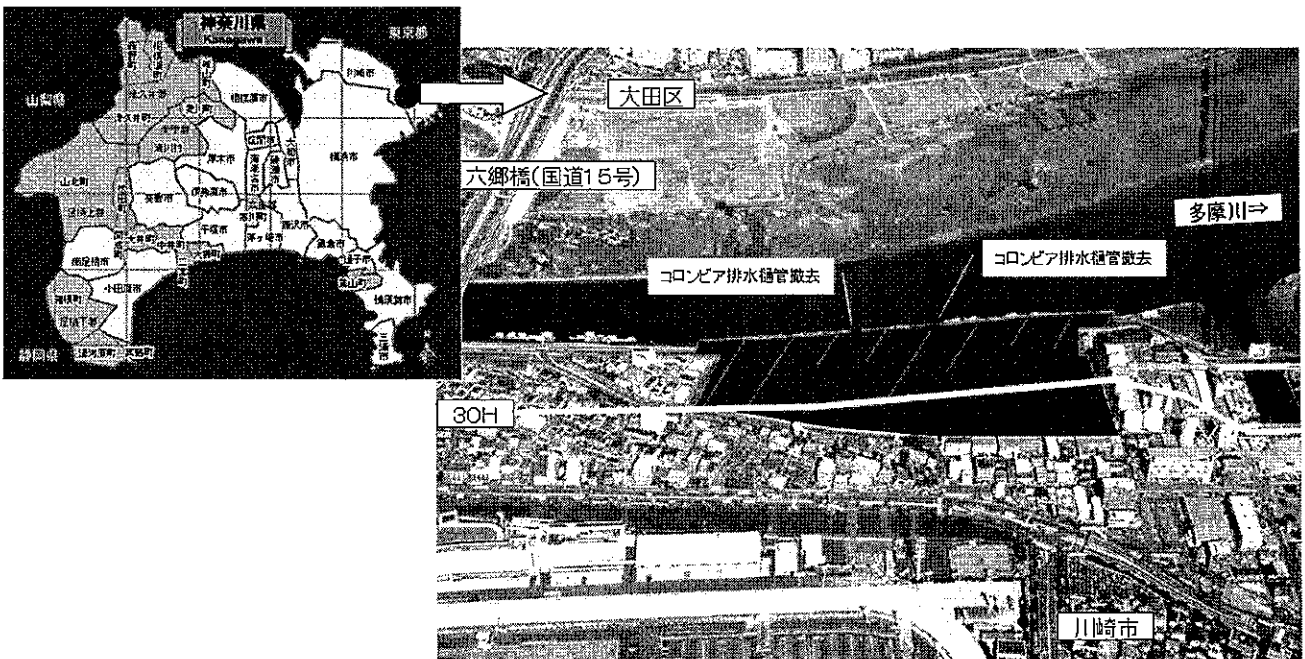
2. 平成20年度の予定

高規格堤防盛土・付属施設（護岸等）の整備を実施します。

3. 期待される整備効果

上流部で実施中の「高規格堤防整備事業（戸手地区）」と一連で高規格堤防が整備されることにより、洪水等の発生時に破堤せず、避難場所等にもなる堤防が整備されることで、洪水に対して強い地域をつくります。

4. 位置図及び概要図



【継続】

つるみがわそうごうすいけいかんきょうせいびじぎょう つるみがわ しせつけんとうせいび  
鶴見川総合水系環境整備事業（鶴見川ふれあい施設検討整備）

H20事業費：52百万円

よこはまし  
横浜市

1. 事業の必要性及び概要

鶴見川では「水環境の健全化」に向け、流域対策のあり方とその実現方策等を具体的に示した「鶴見川流域水マスタープラン」を平成16年8月に策定しました。

本事業は「鶴見川流域水マスタープラン」の中に位置付けられた「水辺ふれあいマネジメント」施策の一環として、市民と水辺とのふれあいを促進するため、河川の持つ連続性を活かした川辺の散策路、福祉対応の緩傾斜スロープ等を整備するとともに、交流・休憩・イベント活動等多機能な活用へ対応できる水辺ふれあい拠点の整備を実施します。

○全体計画

事業箇所：<sup>かながわけんよこはまし</sup>神奈川県横浜市

事業内容：水辺ふれあい拠点整備 7箇所、緩傾斜スロープ 7箇所  
階段 7箇所、流域サブセンター 2箇所 等

全体工期：平成18年度～平成23年度予定

全体事業費：約4億円

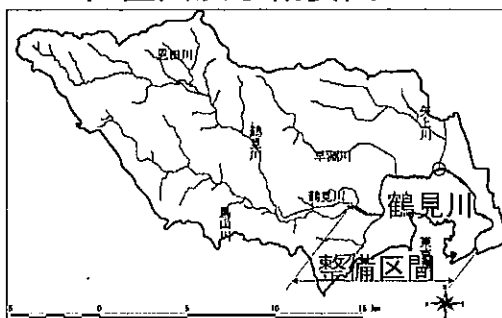
2. 平成20年度の予定

平成19年度は、階段、緩傾斜スロープ、一里塚の整備に引き続き、平成20年度は、階段等を実施します。

3. 期待される整備効果

- ・河川利用の利便性、安全性の向上

4. 位置図及び概要図





【新規事業化】

さがみがわそうごうすいけいかんきょうせいびじぎょう さがみがわみずべりようしせつせいび  
相模川総合水系環境整備事業（相模川水辺利用施設整備）

H20事業費：50百万円

ひらつかし ちがさきし さむかわまち  
平塚市、茅ヶ崎市、寒川町

1. 事業の必要性及び概要

相模川の下流部は市街地を流れており、グラウンドや水辺の楽校等が整備され、多くの人に利用されています。しかしながら、水際へのアクセス路が少ないことから、地元より連続性をもった散策路や階段等の整備が望まれています。

そのため、本事業で散策路等を整備し、地域の交流拠点としての水辺空間を創出します。

○全体計画

事業箇所：かながわけんひらつかしばんにゆうちさき さむかわまちいちのみやちさき神奈川県平塚市馬入地先～寒川町一之宮地先

延長：L=6,500m

事業内容：散策路 6,500m、階段 2箇所、一里塚 6箇所

全体工期：平成20年度～平成24年度予定

全体事業費：約9億円

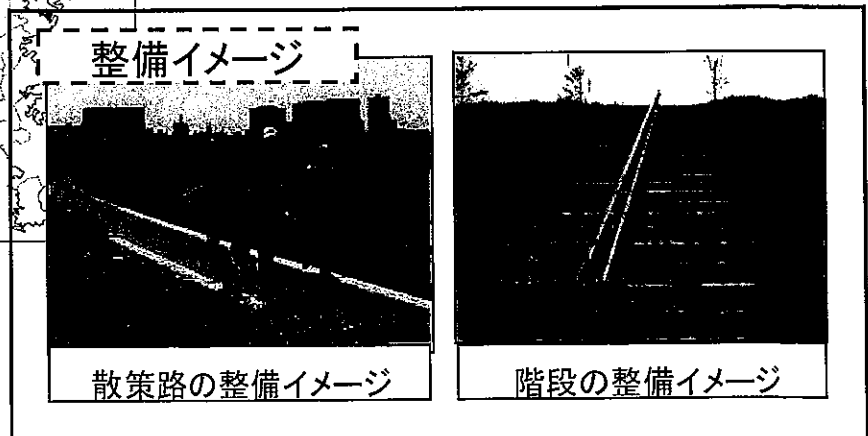
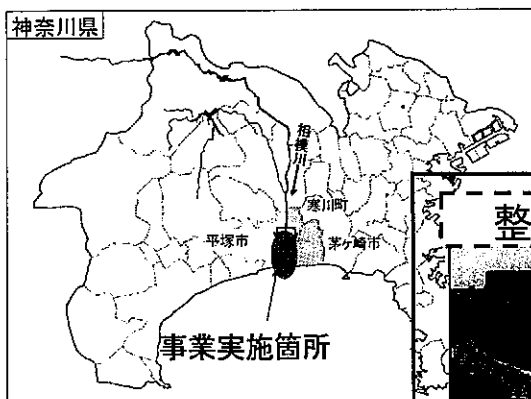
2. 平成20年度の予定

散策路及び一里塚を実施します。

3. 期待される整備効果

- ・水辺利用の利便性・安全性向上
- ・環境教育、自然体験活動の場の創出

4. 位置図及び概要図



【継続】

さがみがわこういききかんかせんかいしゆうじぎょう  
相模川広域基幹河川改修事業

H20事業費：1, 157百万円

さがみはらし ざまし えびなし あつぎし ひらつかし さむかわまち あいかわまち  
相模原市・座間市・海老名市・厚木市・平塚市・寒川町・愛川町

1. 事業の必要性及び概要

海老名市河原口地区は相模川の中でも特に川幅が狭く、洪水流下能力が低いことから、昭和47年度から延長1.6kmの区間において、拡幅のための用地買収を進めてきました。

平成19年度から築堤工事に着手しており、堤防に隣接して建設される「さがみ縦貫道路(圏央道)」の供用開始予定にあわせて事業を進めています。

○全体計画

事業箇所：かながわけんさむかわまちいちのみや 神奈川県寒川町一之宮～かながわけんさがみはらしたな 神奈川県相模原市田名

延長：L=21, 600m

事業内容：築堤工210, 000m<sup>3</sup>、用地買収320, 000m<sup>2</sup>

全体工期：昭和47年度～

全体事業費：約624億円

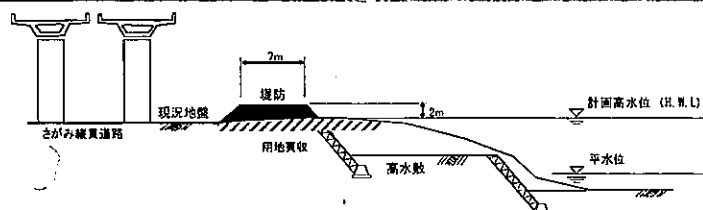
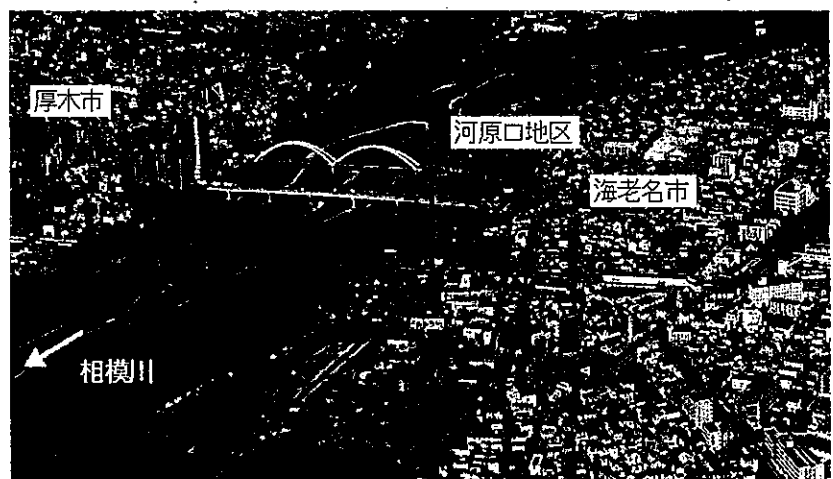
2. 平成20年度の予定

平成19年度に引き続き、築堤および用地買収の促進を支援します。

3. 期待される整備効果

海老名市街地に隣接する無堤部、洪水流下能力ネック箇所の解消

4. 位置図及び概要図



【継続】

よこはまこうほんもくちくこくさいかいじょう せいびじぎょう  
 横浜港本牧地区国際海上コンテナターミナル整備事業  
 H20事業費：2,700百万円

よこはまし  
 横浜市

1. 事業の必要性及び概要

横浜港の国際コンテナ貨物需要の増加並びにコンテナ船の大型化に対応するため、既存コンテナターミナルを増深改良します。

○全体計画

事業箇所：かながわけんよこはまし神奈川県横浜市

主要施設：航路・泊地（-16m）、泊地（-16m）  
 岸壁（-13m）（改良）、泊地（-13m）

全体工期：平成19年度～平成23年度予定（B・C突堤）  
 平成17年度～平成21年度予定（D突堤）

全体事業費：約53億円（B・C突堤）、約57億円（D突堤）

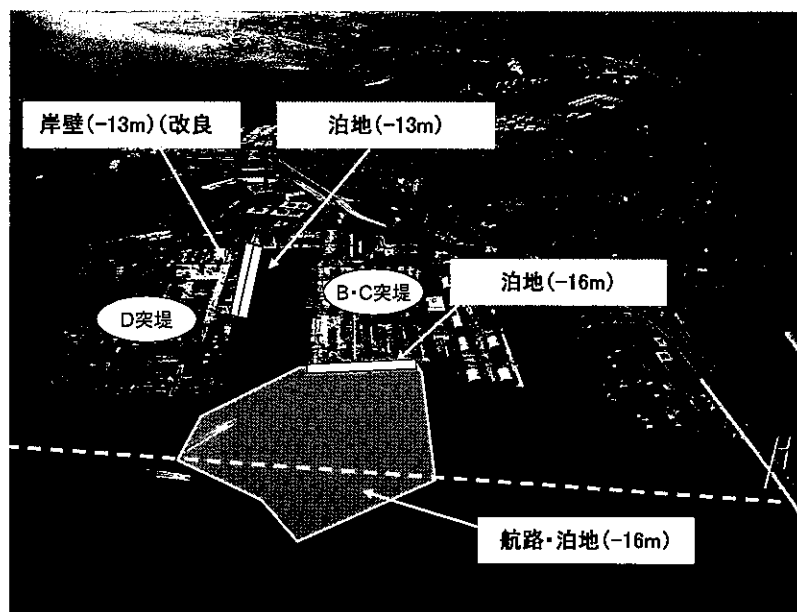
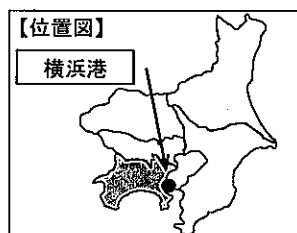
2. 平成20年度の予定

B・C突堤については、航路・泊地の浚渫工事を実施し、D突堤については老朽化した施設の撤去を行い、新たな岸壁の本体工等を実施します。

3. 期待される整備効果

既存のコンテナターミナルを増深改良することにより、大型コンテナ船の入港が可能となり、物流コストの低減と国際競争力の強化が図られます。

4. 位置図及び概要図



【継続】

よこはまこうみなみほんもくふとうちくこくさいかいじょう

横浜港南本牧ふ頭地区国際海上コンテナターミナル (耐震強化岸壁)

たいしんきょうかがんべき

整備事業

H20事業費：10,251百万円

よこはまし  
横浜市

1. 事業の必要性及び概要

横浜港の国際コンテナ貨物需要の増加並びにコンテナ船の大型化に対応するため、我が国最大級となる水深-16m級の岸壁を有する新たなコンテナターミナルを整備します。また、構造を耐震強化岸壁とすることで大規模地震時には、その機能を維持します。

○全体計画

事業箇所：神奈川県横浜市

事業内容：岸壁(-16m)(耐震強化)等

全体工期：平成19年度～平成24年度予定

全体事業費：約435億円

2. 平成20年度の予定

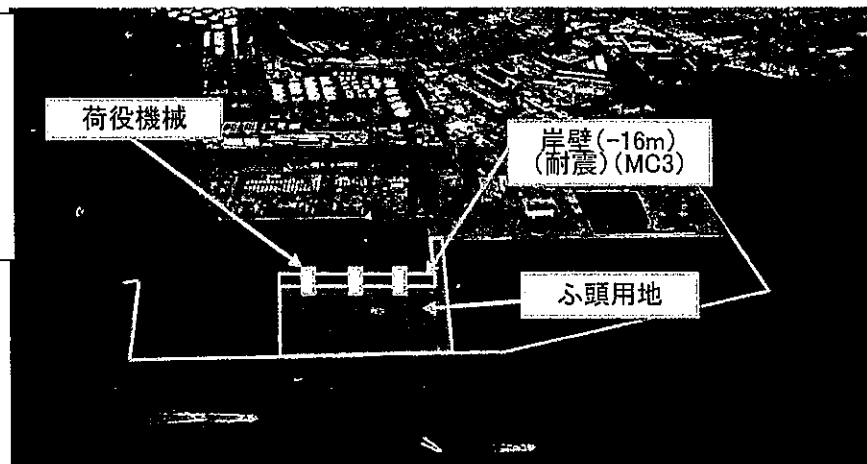
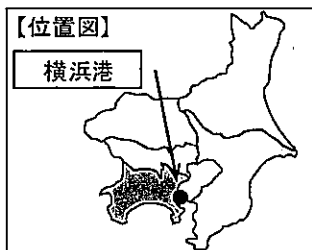
地盤改良工及び本体工等を実施します。

3. 期待される整備効果

我が国最大級となるコンテナターミナルを整備することにより、8,000TEUクラスの大型コンテナ船の入港が可能となり、物流コストの低減と国際競争力の強化が図られます。

また、大規模地震時には、被災直後より国際コンテナ貨物輸送用の岸壁として機能します。

4. 位置図及び概要図



【継続】

よこはまこうほんもくち くりんこうどうろせいびじぎょう  
横浜港本牧地区臨港道路整備事業

H20事業費：570百万円

よこはまし  
横浜市

1. 事業の必要性及び概要

港湾貨物の増大に伴う交通量の増加に対応し、港湾関連交通の円滑な陸上輸送を確保するため、臨港道路の整備をします。

○全体計画

事業箇所：かながわけんよこはまし神奈川県横浜市

主要施設：臨港道路

全体工期：平成19年度～平成22年度予定

全体事業費：約20億円

2. 平成20年度の予定

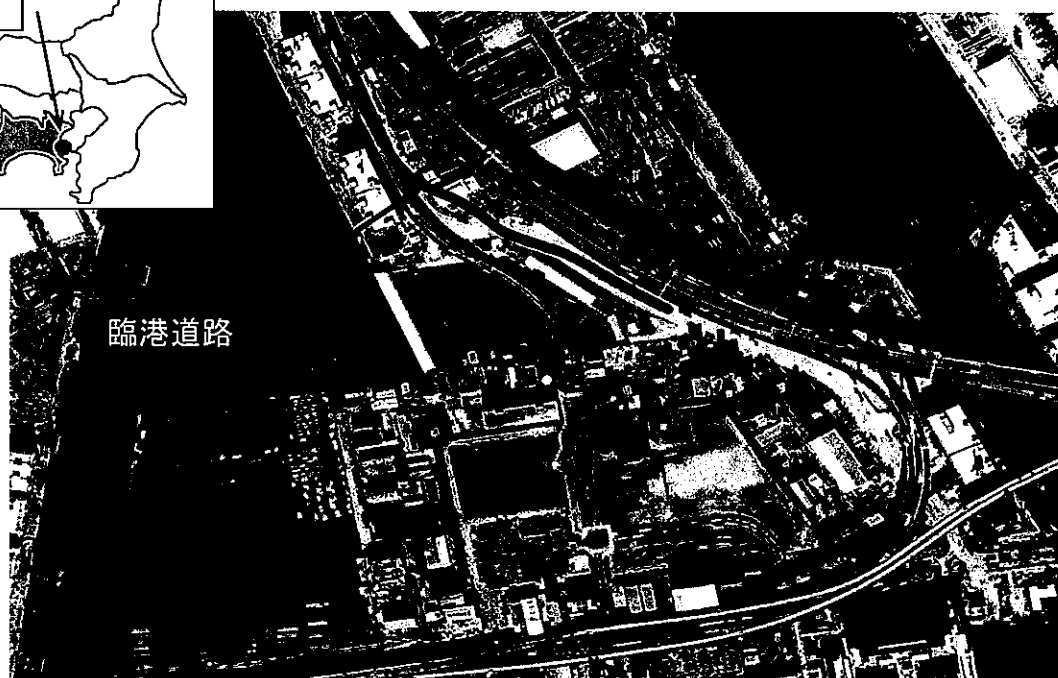
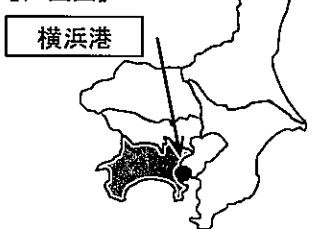
橋脚下部工及び上部工（桁製作）を支援します。

3. 期待される整備効果

臨港道路を整備することにより、港湾関連車両など利用者サービスの向上が図られるとともに、港湾物流の円滑かつ効率化が図られます。

4. 位置図及び概要図

【位置図】



【新規事業化】

よこはまこう しんこうこうふきん  
横浜港みなと振興交付金

H20事業費：45百万円

よこはまし  
横浜市

1. 事業の必要性及び概要

横浜港内のみなとみらい21周辺地区を対象として、当該地区の再整備を図るため緑地の整備や照明施設等の設置等を行います。

○全体計画

事業箇所：よこはまし 横浜市  
全体面積：1.5ha（緑地整備）  
事業内容：緑地整備及び情報提供施設、照明施設の設置等  
全体工期：平成20年度～平成24年度予定  
全体事業費：約8.5億円

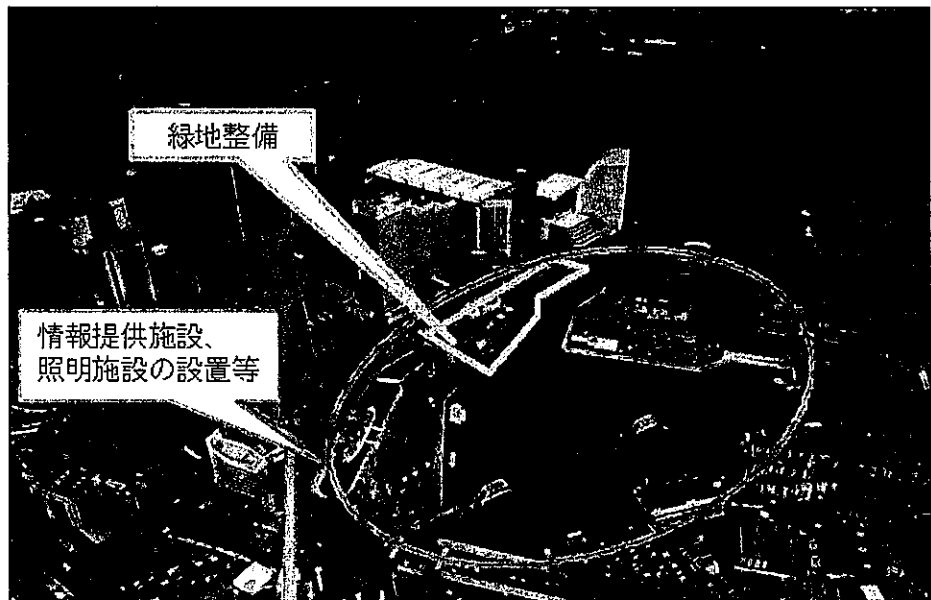
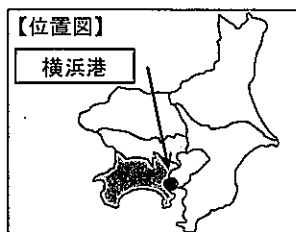
2. 平成20年度の予定

緑地の設計を支援します。

3. 期待される整備効果

背後の土地利用や景観・環境面への配慮を踏まえた水際線の整備を行うことにより、水辺空間の活性化が図られます。

4. 位置図及び概要図



【新規事業化】

おおいそこう しんこうこうふきん  
大磯港みなと振興交付金

H20事業費：40百万円

おおいそまち  
大磯町

1. 事業の必要性及び概要

新たな交流拠点の創出を図るため、緑地の整備及び近隣海域の周遊実験等社会実験を行います。

○全体計画

事業箇所：かながわけんおおいそまち神奈川県大磯町

全体面積：緑地0.6ha

事業内容：緑地及び航路の整備、小型船による近隣海域の周遊実験等社会実験の実施

全体工期：平成20年度～平成24年度予定

全体事業費：約3.5億円

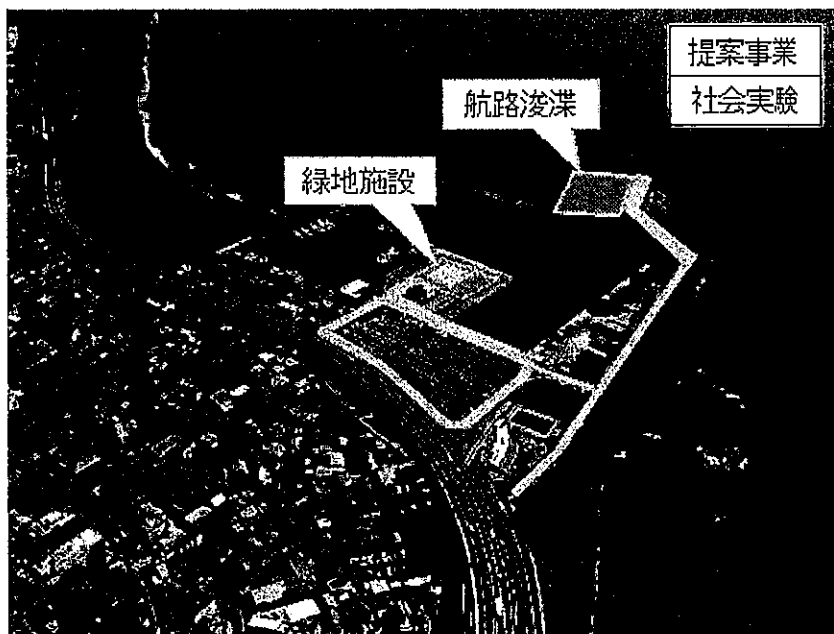
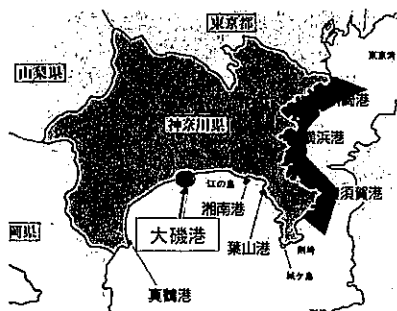
2. 平成20年度の予定

緑地の設計と遊歩道の整備を支援します。

3. 期待される整備効果

人々が憩える緑地の整備や小型船による近隣海域の周遊実験等の実施により、来訪者の増加と港湾の利用促進が図られ、大磯港を拠点とした地域の活性化と地域の振興に寄与します。

4. 位置図及び概要図



【完成予定】

よこはまこうしんこうちく ぞうのはなちく こうわんかんきょうせいびじぎょう  
 横浜港新港地区（象の鼻地区）港湾環境整備事業

H20事業費：1,900百万円

よこはまし  
 横浜市

1. 事業の必要性及び概要

横浜港新港地区（象の鼻地区）は、山下公園と赤レンガパークの中間に位置し、この地区を整備することにより、臨港パークから山下公園までの連続した親水空間ネットワークが形成されます。これにより、市民が緑や水辺に親しめる快適な空間を確保し、横浜港発祥の地としての歴史性や周辺の地区と一体となった港まち横浜を代表する象徴的な景観をつくり、水・緑豊かで美しい都市空間を創出することができます。平成20年度は完成供用を目指し、植栽等の緑地整備を実施します。

○全体計画

事業箇所：<sup>かながわけんよこはまし</sup>神奈川県横浜市  
 全体面積：3.2ha  
 事業内容：護岸改修、緑地整備  
 全体工期：平成18年度～平成20年度予定  
 全体事業費：約35億円

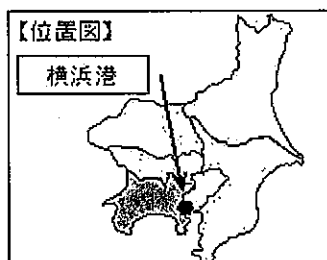
2. 平成20年度の予定

護岸改修、植栽等緑地の整備を実施し、完成供用を目指します。

3. 期待される整備効果

市民が緑や水辺に親しめる快適な空間が確保され、また、横浜開港の地としての歴史性や地区内に残る歴史的価値のある建造物を活かし、周辺の地区と一体となった港まち横浜にふさわしい景観が形成され、「憩い」「にぎわい」の空間に生まれ変わります。

4. 位置図及び概要図





【新規事業化】

はしもと6ちょうめ24ばんちくゆうりようけんちくぶつとうせいびじぎょう  
橋本6丁目24番地区優良建築物等整備事業

H20事業費：337百万円

さがみはらし  
相模原市

1. 事業の必要性及び概要

橋本地区は相模原市の北の玄関口にあることから、鉄道3線が結節する交通の要衝であり、市の拠点の一つとして発展が期待される地区です。

しかし、地区内には老朽低層木造の店舗、住居が混在し土地利用も細分化されているため、合理的な土地利用が望まれています。

そのため、当該地区において、店舗と住宅を併設した複合建築物を建設するものです。

○全体計画

事業箇所：かながわけんさがみはらしはしもと6ちょうめ神奈川県相模原市橋本6丁目

面積：約0.21ha

事業内容：施設建築物 延べ面積約11,000㎡ 階数19階  
共同住宅107戸、店舗約280㎡、駐車場

全体工期：平成20年度～平成22年度予定

全体事業費：約30億円

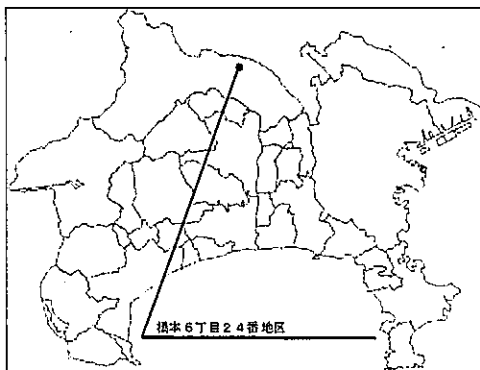
2. 平成20年度の予定

設計、既存建築物除却、建築工事を支援します。

3. 期待される整備効果

共同化による店舗と住宅を併設した複合建築物の建設、公開空地の確保により、街の賑わいの創出や住民及び来街者の回遊性が向上するとともに、公共駐輪場へのアクセス向上が見込まれます。また、耐火建築物への更新により、防災性の向上も図られます。

4. 位置図及び概要図



イメージ図

【継続】

よこはましこうきょうげすいどうじぎょう  
横浜市公共下水道事業（新羽末広幹線）

H20事業費：26,756百万円

横浜市

### 1. 事業の必要性及び概要

横浜市では、下水道事業により、時間降雨量約50mm（5年に1回程度の降雨）に対する浸水対策を行うとともに、浸水危険度の高い地域では、時間降雨量約60mm（10年に1回程度の降雨）に対応できる対策を実施しています。このうち、新羽末広幹線は、鶴見川中下流域の治水安全度の向上を目的とした雨水貯留幹線として整備します。

#### ○全体計画

事業箇所：横浜市港北区～鶴見区

延長：L＝約20km、貯留量約410,000m<sup>3</sup>

事業内容：シールド工（φ6,500mm）

全体工期：平成3年度～平成23年度予定

### 2. 平成20年度の予定

平成19年度に引き続き、治水安全度の早期発現のため、シールドトンネル等の事業を支援します。

### 3. 期待される整備効果

鶴見川中下流域の治水安全度の向上が図られます。

### 4. 位置図及び概要図



平成6年洪水（横浜市 港北区）

出水状況写真



【継続】

かながわけんちいきちいきじゆうたくこうふきん

神奈川県地域地域住宅交付金

H20事業費：9,928百万円

神奈川県（他31市町村含）

#### 1. 事業の必要性及び概要

住宅困窮者や子育て世帯の居住の安定の確保、高齢者や障害者等誰もが安心して暮らせる良好な居住環境の整備やストックを有効活用した公的賃貸住宅の建替・改善及び福祉施設の併設等を促進します。

また、災害に対する都市の安全性を目指した既存民間住宅の耐震改修等に対する助成等を促進して、魅力と活力あふれた地域づくりや地域再生を支援します。

#### ○全体計画

事業箇所：神奈川県全域

事業内容：公営住宅等整備1,300戸、公営住宅ストック総合改善事業等

全体工期：平成17年度～平成22年度予定

全体事業費：約428億円

#### 2. 平成20年度の予定

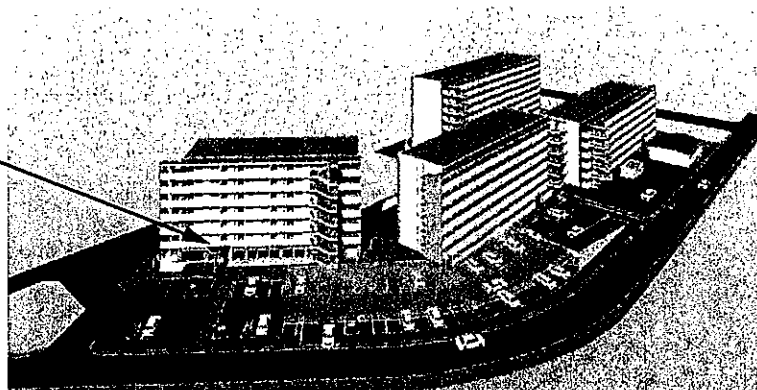
平成19年度に引き続き、公営住宅建替事業、既存民間住宅の耐震改修促進事業等を行い、地域の住宅政策を支援します。

#### 3. 期待される整備効果

神奈川県内におけるバリアフリー化された住宅の割合の向上及び最低居住水準未満世帯の割合の改善が期待されます。

#### 4. 概要図

生活支援、地域交流や  
就労支援等を行う地域  
活動支援センターを併設



福祉施設を併設した公営住宅（イメージ図）

【継続】

かまくらちゅうおうこうえんとしこうえんじぎょう  
鎌倉中央公園都市公園事業

H20事業費：630百万円

かまくらし  
鎌倉市

1. 事業の必要性及び概要

本公園は、市街地の中で生物多様性の確保に資する良好な自然環境基盤を保ってきました。このような豊かな自然環境をより良い形で後世に伝えるため、市民が自然環境にふれ合うことができる風致公園として拡大し、整備しています。

○全体計画

事業箇所：かながわけんかまくらし神奈川県鎌倉市

面積：51.2ha（開設済は23.7ha）

事業内容：風致公園整備

全体工期：昭和55年度～平成28年度予定

全体事業費：約205百万円

2. 平成20年度の予定

平成19年度に引き続き、豊かな自然環境を保ってきた鎌倉市台峯地区を、都市公園として整備し、保全・利活用するため、用地買収を支援します。

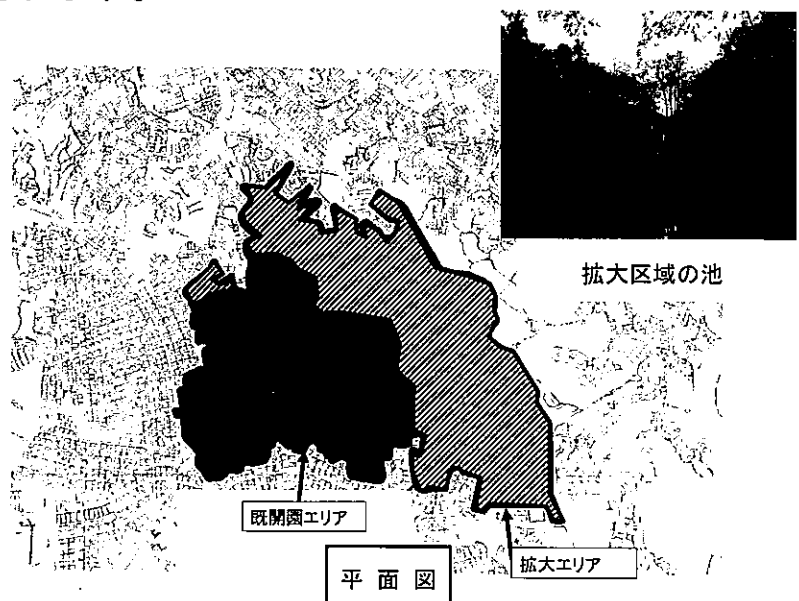
3. 期待される整備効果

都市域における貴重な自然環境の永続的な確保と、これらを市民が享受できる場として活用されます。

4. 位置図及び概要図



位置図



平面図

## 平成20年度予算

# 神奈川県

### 補助事業配分額

(単位:百万円)

区 分	20年度
治 水	18,465
海 岸	360
道 路 整 備	3,839
港 湾	13,409
住 宅 对 策	29,180
市 街 地 整 備	49,499
下 水 道	71,161
都 市 公 園	20,252
地域再生基盤強化交付金	898
合 計	207,063

※国会において予算関連法案が審議中であること等のため、本表は暫定版であり、配分額については、今後、変更があり得る。